

平成24年行政事業レビューシート (環境省)

事業名		容器包装リサイクル推進事業費	担当部局庁	大臣官房廃棄物・リサイクル対策部	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度		平成18年度～	担当課室	企画課リサイクル推進室	室長 森下 哲			
会計区分		一般会計	施策名	4-2 各種リサイクル法の円滑な施行によるリサイクル等の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)		容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律第5条、第7条の2、第13条第2項第3号	関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		改正容器包装リサイクル法に基づく容器包装廃棄物の排出抑制及び質の高い分別収集・再商品化を推進する取組は、ある主体の行動のみによっては達成が困難であり、国民、事業者及び行政、国、自治体(との連携と協働による3Rの活動が不可欠である。国が各主体の連携を促進するための施策を実施することにより、容器包装リサイクル制度の円滑な運用と容器包装廃棄物の排出削減及び高度なリサイクルの推進を図るものである。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)		プラスチック製容器包装のリサイクルについては、量的な拡大のみならず、より質の高いリサイクルを目指す必要があり、このため、消費者の信頼性を高める取組や、特定事業者の取組を促し、社会システム全体としての高度化を推進する。また、容器包装リサイクル法の適正な運用のため、再商品化義務量算定に必要なデータや、改正容器包装リサイクル法の効果について、分別収集コストの把握等、各種調査を行う。さらに、改正容器包装リサイクル法での基本的方向である、排出抑制、リデュース(及び再使用)、リユース(を更に推進するため、国民、事業者及び行政に対する積極的な3R普及啓発活動の推進を行うものである。						
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		予算の状況	当初予算	123	73	58	55	54
			補正予算	0	0	0	0	
			繰越し等	0	0	0	0	
			計	123	73	58	55	54
		執行額	100	73	46			
執行率(%)	81	100	79					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
		(別紙)			成果実績			
				達成度	%			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
		容器包装リサイクル法の適正な運用等に資するための調査・検討等を行うものであり、定量的な活動指標の設定が困難である。		活動実績(当初見込み)				—
単位当たりコスト		(円 /)		算出根拠				
平成24-25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	環境保全調査費	55	54	事業内容等の見直し				
	計	55	54					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	容器包装リサイクル制度の円滑な運用と容器包装廃棄物の3Rの推進を図るために、国が調査・検討等を行うものである。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	競争入札により、競争性を確保している。また、随時に業務の進捗状況を把握し、必要に応じて指示を行った。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	容器包装リサイクル制度の施行状況等の把握や容器包装廃棄物の3Rの推進を図る上で、不可欠な事業である。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本事業のうち、排出実態調査や組成分析調査等については、容器包装リサイクル法の運用状況を継続的に把握する上で不可欠なものであるため、今後も継続して実施するが、調査対象数や調査項目数等については、これまでの調査結果の蓄積を踏まえて内容を見直ししていくとともに、業務の簡素化のため可能な限り事業を統合して執行する。普及啓発事業については、今後予定されている容器包装リサイクル法の改正の方向性に合わせ、事業内容を適宜見直ししていく。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	調査及び普及啓発の対象を精査することなどにより予算額を節減すべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	普及啓発事業に係る人件費等を見直し、概算要求額を減額。		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	104	平成23年行政事業レビュー	097

※平成23年度実績を記入

環境省
46百万円

【総合評価入札】
A.(株)日水コン
16百万円

容器包装廃棄物の使用・排出実態調査及び詳細組成調査業務

【一般競争入札】
B.(株)三菱総合研究所
15百万円

容器包装リサイクル制度の見直しに係る調査検討業務

C.三菱UFJリサーチ&コンサルティング
(株)

・容器包装廃棄物に係る3R促進業務【総合評価入札】
・容器包装廃棄物の3R促進イベント実施支援【少額随意契約】

【一般競争入札】
D.(株)グリーンコープジャパン
0.6百万円

廃ペットボトルの輸出等市区町村における独自処理に関する実態調査業務

E.事務費
0.9百万円

容器包装廃棄物の3R推進に係る普及啓発用小冊子印刷

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごと
 に最大の金額が支出され
 ている者について記載す
 る。費目と使途の双方で
 実情が分かるように記載)

A.(株)日水コン						
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
	本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。					
計		16	計			
B.(株)三菱総合研究所						
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
	本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。					
計		15	計			
C.三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)						
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
	本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。					
計		13	計			
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
計			計			

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)日水コン	容器包装廃棄物の使用・排出実態調査及び詳細組成調査業務	16	3	97%

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)三菱総合研究所	容器包装リサイクル制度の見直しに係る調査検討業務	15	3	92%

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)	容器包装廃棄物に係る3R促進業務	13	2	86%
2	三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)	容器包装廃棄物の3R促進イベント実施支援	0.7	少額随意契約	—

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)グリーンコープジャパン	廃ペットボトルの輸出等市区町村における独自処理に関する実態調査業務	0.6	17	22%

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)港洋社	容器包装破棄物の3R推進に係る普及啓発用小冊子印刷	0.9	少額随意契約	—

(別紙)

事業番号 096

事業名 容器包装リサイクル推進事業費

成果指標	単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)
容器包装リサイクル法に基づく容器包装分別収集量 (無色のガラス製容器)	千トン	328	327	調査中	356
	%	92	92	調査中	
容器包装リサイクル法に基づく容器包装分別収集量 (茶色のガラス製容器)	千トン	284	283	調査中	307
	%	93	92	調査中	
容器包装リサイクル法に基づく容器包装分別収集量 (その他の色のガラス製容器)	千トン	189	188	調査中	184
	%	103	102	調査中	
容器包装リサイクル法に基づく容器包装分別収集量 (紙製容器包装)	千トン	89	93	調査中	171
	%	52	54	調査中	
容器包装リサイクル法に基づく容器包装分別収集量 (ペットボトル)	千トン	287	297	調査中	340
	%	84	87	調査中	
容器包装リサイクル法に基づく容器包装分別収集量 (プラスチック容器包装)	千トン	688	709	調査中	1,004
	%	69	71	調査中	
容器包装リサイクル法に基づく容器包装分別収集量 (スチール製容器)	千トン	245	226	調査中	307
	%	80	74	調査中	
容器包装リサイクル法に基づく容器包装分別収集量 (アルミ製容器)	千トン	133	131	調査中	152
	%	88	86	調査中	
容器包装リサイクル法に基づく容器包装分別収集量 (段ボール製容器)	千トン	598	603	調査中	781
	%	77	77	調査中	
容器包装リサイクル法に基づく容器包装分別収集量 (飲料用紙製容器)	千トン	15	16	調査中	28
	%	54	57	調査中	